

パスポートを握りしめ、アートの世界へ歩いていこう

創造を生涯 の友にする 「鑑賞遊び」

美術科教育学会 西地区研究会

2008年11月15日[土]

徳島県立近代美術館

- 研究発表&パネルディスカッション
13:30-16:40 (講座室)
- 同日開催：鑑賞シート活用授業研究会
10:30-12:30 (アトリエ)

テーマに関心のある方はどなたも参加できます

「鑑賞遊び」とは、「作品世界を自分らしく旅する27人の鑑賞者に会いたいな」という願いから生まれた鑑賞活動の一つです。「作品とのかかわり方を習得する場」と「自立鑑賞の場」を連動させる活動方法のヒントを、子どもたちの伝統的な遊びの場に求めたところから、「鑑賞遊び」とネーミングしました。作品とのかかわり方を身に付けた子どもたちは、同時に互いの作品世界を行き交うためのパスポートも手にすることができず。そこには、自分とは異なる他者の見方や感じ方を虚心坦懐に受け止めていこうとする創造的な鑑賞活動が生まれてきました。

さて、このような鑑賞遊びを、3月に告示されたばかりの学習指導要領の改訂趣旨に照らして合わせて眺めてみると、様々な共通点があることに気付かされます。なかでも、「基礎的・基本的な知識・技能の育成(いわゆる習得型の教育)」と自ら学び自ら考える力の育成(いわゆる探求型の教育)を総合的に育成する具体的な方策が必要である」と提案された活用型の学習指導方法は、もつとも顕著なものとしてあげられます。鑑賞遊びの学習過程は、まさに「習得・活用・探求」のつながりを求めてきたものであったからです。

実際、「作品とのかかわり方を習得する場(習得)」と「自立鑑賞の場(探求)」をつなげる鑑賞遊びのパスポート(活用力)は、学校生活・美術館・地域社会の中でその効力をますます発揮してきました。様々な人との交流を図りながら、有効期限のない鑑



賞パスポートを掴みとってほしいと取り組んできた鑑賞遊びの活動は、「色や形などによるコミュニケーションを通して生活や社会とのかかわる態度をはぐくむ」とした、図画工作科の改訂基本方針を具現化するプログラムとしても提言できると考えます。

新学習指導要領が告示された本年度に、「鑑賞遊び」への理解と普及を目的とした研究発表を行うことにより、創造を生涯の友として成長していく子どもたちの未来を見据えた、鑑賞活動の推進を求めたいと思います。



当日は、これまでの成果を濱口・竹内が活動の実際を通して報告します。さらに5人のパネリストに「鑑賞遊び」の内実をディスカッションして頂きその真価を問うとともに、参加者との意見交換を交えながら、これからの鑑賞教育について考えを深めていく予定です。なお、午前中同会場にて「第5回鑑賞シート活用授業研究会」を開催します。お時間がございましたら、こちらの研究会もどうか覗きにおいでください。それぞれの学校でさらに飛躍していった鑑賞遊びがたくさん報告されると思っています。

2008年11月15日[土]

- **研究発表&パネルディスカッション**
13:30-16:40 (講座室)
- **同日開催：鑑賞シート活用授業研究会**
10:30-12:30 (アトリエ)

テーマに関心のある方はどなたも参加できます

- 研究発表者 濱口由美 (徳島市富田小学校 教諭)
竹内利夫 (徳島県立近代美術館 主任学芸員)
- パネリスト 赤木里香子 (岡山大学教育学部 准教授)
森 芳功 (徳島県立近代美術館 専門学芸員)
山木朝彦 (鳴門教育大学 教授)
山田芳明 (鳴門教育大学 准教授)
結城栄子 (徳島県立総合教育センター 教職員研修課指導主事)
(五十音順)
濱口由美、竹内利夫
- 参加対象 学会員、県内外の教職員、美術教育に関心のある者
参加費 無料
主催 美術科教育学会西地区会、徳島県立近代美術館
後援 徳島県中学校教育研究会 美術部会
徳島県小学校教育研究会 図画工作部会

日程

- | | |
|-------------|--|
| 10:30-12:30 | 第5回鑑賞シート活用授業研究会 |
| 13:25 | 開会 |
| 13:30-14:00 | 研究発表I 濱口由美
「パスポート力を涵養する鑑賞遊び」 |
| 14:00-14:30 | 研究発表II 濱口由美・竹内利夫
「鑑賞パスポートを手にした子どもたち」 |
| 14:30 | 休憩 |
| 14:40-16:40 | パネルディスカッション
「鑑賞遊び」の習得・活用・探求
—図工室から生涯美術へ— |
| 16:45 | 閉会 |

※学会受付は、13:00から行います。

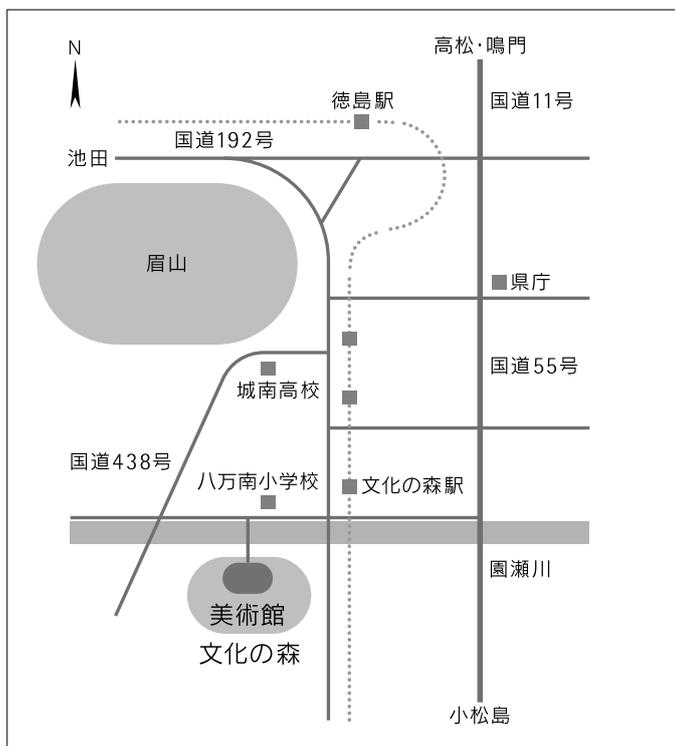
問い合わせ先

徳島県立近代美術館 竹内利夫
〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内
tel: 088-668-1088 fax: 088-668-7198
e-mail: takeuchi-toshio-2@mt.tokushima-ec.ed.jp

第5回鑑賞シート活用授業研究会

(会場=3階・アトリエ)

鑑賞シートを活用した実践開発とそのネットワーク確立のために集まった学校教員メンバーによる自主的な研究会です。今回は、鑑賞シートNo.7「吹田文明の色と光」の実践報告会です。去る7月6日の研究会で、鑑賞遊び「音のかくれんぼ」を自ら体験した教員による実践の報告は、それぞれの学校で鑑賞遊びが味付けされていった様子を具体的に伝えてくれることでしょう。



徳島県立近代美術館へのアクセス

JR 徳島駅からバス利用 (20~30分)

●徳島市営バス： 3番乗り場「市原」行きに乗車し、終点「市原」で下車、「文化の森」行きシャトルバスにお乗り下さい。他に、直通バスもあります。

●徳島バス： 4番乗り場「仁井田西」または「西井開」行きに乗車し、「園瀬橋」下車。徒歩10分。または、「市原」で下車し「文化の森」行き市バスに乗り換えて下さい。

※バス時刻表

http://www.comet.tokushima-ec.ed.jp/info_traffic.htm

JR 文化の森駅から (徒歩で約35分)

タクシー・バスの便はありません。

徳島空港から市内

徳島駅まで約25分。連絡バス430円。

高速バス

高速バスが各地から運行しています。

高松・松山・高知 | 関西 | 岡山・広島 | 名古屋 | 東京

※徳島県観光情報サイト 阿波ナビ

<http://www.awanavi.jp/category/0000009.html>